

---

## むすびの挨拶にかえて

平成 24 年末から 2 年間かけて、福生市緑の基本計画改定の検討を行う検討委員会の会長として携わって参りました。本改定計画の策定にあたっては、前計画の方針を引き継ぐとともに、委員のみなさんとともに未来の議論を重ね、近年の社会状況や市民意識の変化などを踏まえた視点を新たに盛り込みました。

そして、福生市の緑と水の現状の特性と課題を十分にふまえるとともに、市民のみなさんにとってわかりやすい計画となることを心がけました。

福生市には、多摩川の水と緑、河岸段丘の緑、玉川上水、熊川分水、福生分水、そして多くの湧水など、多様な水の資源があることが特徴の一つにあげられます。これらの「水」や「いきもの」に目を向けて、崖線が市内を走り、道路の脇を水が流れる恵まれた環境を活かしたまちづくりを進めるための施策を検討してきたことも、この緑の基本計画の改定の特徴です。

また、市民のみなさんに身の周りの緑や水に興味をもっていただくよう、人々の暮らしの目線で計画の検討を進めてきました。市民のみなさんにとって分かりやすい将来目標を設定することや、市民のみなさんにも主体的に参画していただき、市民のみなさんとの協働により緑と水のまちづくりを進めることも大切にしたいと考えてきました。

福生市のみなさんには、この「福生市緑の基本計画」で提言したみどりのまちづくりの将来像を共有していただき、それらが実現されるよう、市民と行政が連携して、ひとつひとつの具体的な施策に取り組んでいただきたいと思います。はじめる一歩が大切ですので、それぞれができることから始めてください。

福生市の緑と水のまちづくりの未来を期待し、むすびの挨拶に代えさせていただきます。

平成 26 年 3 月

福生市緑の基本計画改定検討委員会

会長 金子 忠一